

## 令和4年度子育てサポーターズフォーラム (地域サポーター育成事業) 開催!

令和4年11月29日(火) 京都府口丹波勤労者福祉会館において、子育てサポーターズフォーラム(地域サポーター育成事業)を開催しました。

南丹管内の幼稚園から高等学校までのPTAや学校運営協議会委員、教職員等の学校関係者や社会教育関係者、地域学校協働活動推進員(地域コーディネーター)など、様々な立場で南丹地区の子育てに関わっていただいている方々約60名の参加がありました。

当日は、子どもの健全育成に向け、地域と学校が連携・協働し、社会総がかりで子どもを包み込み、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するための講演を、文部科学省 CSマイスター ゆめ☆まなびネット代表の大谷 裕美子様にお世話になり、基礎から学びました。



その後のワークショップでは、いろいろな職種の方が混じり、学校と地域が連携・協働し、子どもたちのために何ができるのか具体的な活動を想定し、活発な協議が行われました。

◆テーマ「地域と学校の協働活動で、子どもも大人も元気なまちに」

◆内容

- ・講演「地域とともにある学校づくり～子どもたちの未来のために～」
- ・ワークショップ「子どものために、地域のために、学校のために」

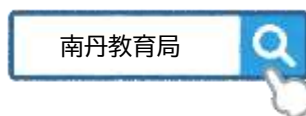
◇講師：文部科学省 CSマイスター ゆめ☆まなびネット 代表

大谷 裕美子 様

南丹教育局では、南丹地域の市町教育委員会や幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校の取組を支援するとともに、地域ならではの教育振興に取り組んでいます。

ぜひ、ホームページをご覧ください!!

南丹教育局ホームページ  
<http://www.kyoto-be.ne.jp/nantan-k/cms/>



## 参加の皆様からの感想

- ★ コミュニティ・スクール、学校運営協議会など言葉の説明に加えて実際の実践例を併せてお話いただき、大変わかりやすかった。
- ★ 今回お話を聞かせていただき、まずは自分が地域に興味をもつこと、それが子どもたちに何らかの形で豊かな経験をすることにつながるのだと思った。
- ★ コミュニティ・スクールは、今、私の学校にもっと必要なことだと感じた。少人数校で家庭数も少ない学校のため、学校活動の中だけでは限界があると思っていたが、地域との連携が大切だと改めて感じた。
- ★ コミュニティ・スクールの仕組みをうまく活用することで、学校と地域とが協働し子どもたちのための学びの深まりにつながる。大きくなっていく子どものこれからにつながっていけるように、地域の一人として関わっていけたらいいなと思った。



### ○コミュニティ・スクールとは・・・

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

### ○地域学校協働活動とは・・・

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

立場の違う方の意見を聞くのは大変貴重です。



グループでの交流の様子をみんなで共有しました。

- ★ それぞれの地域性の中、いかに地域と学校がうまく関わり合っていくか。関わりを通して子どもたちの心や体が育ち、地域の活性にもつながると様々な地域の方と話をして感じた。
- ★ グループで話した内容はもちろんですが、話し合う過程そのものが学校運営協議会での協議につながる活動であり、実践的に学ぶことができた。